

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年05月24日

1 事務事業の現状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	1	公共交通推進事業						
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち							
			施策	便利で快適な住環境をつくろう							
			基本事業	公共交通							
	主管課名		都市計画課			課長名	近藤 健				
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年4月28日			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
この事務事業の根拠法令		なし									
事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
市内の交通空白地帯の解消等を目的とし、市民の足となる交通システムの整備を図るため、平成13(2001)年度からさんさんバスの運行を開始した。また、バス利便区域を500mの範囲に設定し、その範囲から外れる区域は、乗継タクシーでの交通不便解消を図っている。令和3年(2021)年度にさんさんバス路線等の再編を行い、令和4(2022)年度から9台体制で3路線を運行している。 「SDGsの取り組み：3, 7, 8, 9, 11, 13, 15, 17」					さんさんバスの運行目的として、①日常生活における移動手段の確保、②交通弱者の社会参加の促進、③市中心部や駅へのアクセス確保、④地域間の交流促進、⑤環境負荷の低減と交通の円滑化の推進の5つを掲げて運行を行っている。 令和元(2019)年度に公共交通ネットワーク全体における「地域公共交通計画」を策定し、これに基づいて各取組を推進する必要がある。						
R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			地域公共交通会議を3回開催した他、さんさんバス路線再編フォローアップ調査を実施し、利用実態の把握や課題整理を行った。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	市民をはじめ利用者を対象とした事業であるため、変化はなく継続して実施				名称		単位				
					①	さんさんバスの運行に関する経費	千円				
					②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 市民(利用者)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
		名称		単位		①	人口	人			
						②					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 誰もが利用できる公共交通の確保をする 公共交通利用者を増加させる					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
		名称		単位		①	さんさんバス利用者数	人			
						②					
結果(上位基本事業の意図) 安心して便利に公共交通を利用できる					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
		名称		単位		①	行政評価アンケートでやや満足以上割合	%			
						②					
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 千円	78,835	198,111	179,205	179,205	179,205	179,205	179,205			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	61,218	62,360	61,375	61,656	61,938	62,219	62,500			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	241,751	312,000	284,632	315,000	318,000	321,000	324,000			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	42.5	55	27.3	55	55	55	55			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	02	項	01	目	01
コスト	年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	203,375	260,612	239,303	221,606	289,577	225,744	227,862			
	財源内訳	国庫支出金	千円	878	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500		
		県支出金	千円	1,000	1,000	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
		その他	千円	60,358	38,218	36,774	718	33,718	13,218	13,218	
一般財源		千円	141,139	213,894	195,029	213,388	248,359	205,026	207,144		
人件費B	千円	13,575	7,971.2	2,896	2,896	2,896	2,896	2,896			
正職員 正職員以外の人件費	時間×人	625 × 6	367 × 6	800 × 1	800 × 1	800 × 1	800 × 1	800 × 1			
	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	831	312	349	349	349	349	349			
トータルコストA+B+C	千円	217,781	268,895.2	242,548	224,851	292,822	228,989	231,107			
単位あたりコスト (トータルコスト/(2)の対象指標)	① 千円/人	3.6	4.3	4	3.6	4.7	3.7	3.7			
	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

様式1-2

事務事業名		No.	1		公共交通推進事業	
2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない		理由	市民の移動手手段の確保と環境負荷の軽減を図り、市民になくしてはならない公共交通機関であるため。	
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	市民生活にかかる事業であるため。	
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		その理由	目的を明確にして実施する事業であるため。	
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		バス再編によるフォローアップ調査を実施し、市民の意見を聞くことで、より良いバス運行に努める。		
	目的達成状況	内容		さんさんバス利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により計画値に対して91.2%となっている。		
	市関与の必要性 (実施手法)	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 運行事業に関する専門知識及び運転手の確保が必要であるため、運行負担金により、民間事業者が運行している。 さんさんバス運行のために必要な事業であるため、統廃合の選択はない。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		さんさんバス運行のために必要な事業であるため、統廃合の選択はない。		
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等できないか？）	内容		安全運行や運転手の確保のため、事業費・人件費を削除するのは難しい。		
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない		内容	誰もが気軽に乗車することが可能な1乗車100円で設定している。	
3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	・市中央部と各地域間を交流する都市内公共交通ネットワークの形成 ・周辺市町と連絡する広域公共交通ネットワークの形成		対応策	・都市内公共交通ネットワークの形成 ・広域公共交通ネットワークの形成 ・新たなバス利用促進策の検討
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	バス路線等の再編を実施し、路線及びバス台数を増加した。		変更・追加	なし
	今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 さんさんバスを中心とした更なる公共交通の利用促進を図るとともに、近隣市町のコミュニティバスとのネットワーク化を推進し、より利便性の高い公共交通システムを確立する必要がある。 「地域公共交通計画」に基づき路線機能に応じたサービス水準の確保・維持・改善、さんさんバスのサービス水準の向上、利用しやすい環境整備を進め、利用促進を図る。			
コストの方向性			↑ 増加			
成果の方向性			→ 維持			

令和 5年度（4年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和05年12月07日

1 事務 事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	311	公共駐輪場整備管理事業							
	この事務事業の位置		政策	快適で暮らしやすいまち								
			施策	便利で快適な住環境をつくろう								
			基本事業	公共交通								
	主管課名		道路河川課		課長名	舟橋 伸幸						
	この事務事業の開始時期		平成2(1990)年		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		なし									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	三好ヶ丘駅、黒笹駅及び三好上バス停利用者の利便性を向上させるために設置した駐輪場の管理を行う。 「SDGsの取り組み：8, 11」				名鉄豊田線の三好ヶ丘駅、黒笹駅及び名鉄バスの三好上停留場に設置してある駐輪場の周辺清掃及び自転車の整理を行うことにより、駅及び停留所周辺の放置自転車等をなくす。また、環境の保全を図る。							
	R4年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			①駐輪場の用地を確保し借地契約を締結する ②良好な機能を保持し適切な管理をするため委託業務を発注 ③委託内容の確認検査 ④支払い事務								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1)活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	現在事業途中のため現状のまま継続して実施				名称		単位					
					① 駐輪場の借地面積		㎡					
					② 整理清掃の回数		回					
対象(この事業の対象、範囲となる人、物) 三好ヶ丘駅・黒笹駅・三好上バス停公共駐輪場					(2)対象指標（対象の大きさを表す指標）							
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか) 駐輪場を安全で安心して利用できる環境にする					名称		単位					
					① 駐輪場箇所数		箇所					
					②							
結果(上位基本事業の意図) 安心して便利に公共交通を利用できる					(4)結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
					名称		単位					
					① 通勤時における自動車利用の分担率		%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
(1)の 活動指標		① ㎡	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810	1,810			
		② 回	566	566	566	557	557	557	557			
(2)の 対象指標		① 箇所	3	3	3	3	3	3	3			
		②										
(3)の 成果指標		① 件	2	3	4	4	4	4	4			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	74	74	74	74	74	74	74			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	08	項	04	目	02
コスト		年度	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R4年度 実績値	R5年度 計画値	R6年度 目標値	R7年度 目標値	R8年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,651	2,681	2,645	2,767	2,945	2,945	2,945			
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金		千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0			
	その他		千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源		千円	2,651	2,681	2,645	2,767	2,945	2,945	2,945		
人件費B		千円	3,084.2	3,084.2	3,084.2	2,534	2,534	2,534	2,534			
正職員従事時間×人数		時間×人	213×4	213×4	213×4	175×4	175×4	175×4	175×4			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	120	120	101	101	101	101	101			
トータルコストA+B+C		千円	5,855.2	5,885.2	5,830.2	5,402	5,580	5,580	5,580			
単位あたりコスト		① 千円/箇所	1,951.7	1,961.7	1,943.4	1,800.7	1,860	1,860	1,860			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	311	公共駐輪場整備管理事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	毎回放置自転車が発生している
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	今後も駐輪場台数を見直すことは必要である
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	安全で安心して利用できる駐輪場の確保は必要である
	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		駐輪場利用者のモラル向上が必要であるため、事業自体の成果の向上は難しい。
	目的達成状況	内容		日常の自転車整理や年3回の放置自転車の撤去により達成できている
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input checked="" type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営	自転車整理をシルバーに委託しているが、放置自転車の調査は、道路、防災、環境部局3課にまたがるため市で行うのがふさわしい 他に統廃合する事業がない
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		必要最小限での事業内容となっているため困難
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	現在、駐輪場は全て無料で提供しており、利用者の多くは通勤・通学者であり、定期的・継続的な利用者である。受益者負担の考えから有料化することも考えられるが、現状では条例制定・財源確保・関係機関との調整など課題が多い。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	放置自転車が增加している。三好ヶ丘駐輪場に加え、黒笹駅駐輪場の利用者も増加している。	対応策	継続した放置自転車の調査を行う。駅広の整備や未利用地の駐輪場化が必要。
	R5年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	駐輪場の整理、放置自転車の調査	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 今後とも放置自転車の撤去及び自転車の整理を行う			
		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			
コストの方向性		→ 維持			
成果の方向性		→ 維持			